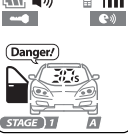


取り付け作業(つづき)

基本動作の確認(つづき)

ステップ 5 ドアスイッチセンサーの動作を確認します。

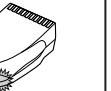
車のドアを開け、警報するか確認してください。このとき車両側とリモコンが、下記表示を行うことも確認してください。

	アンテナユニット	サイレン	ハザード	リモコン
ドアセンサー感知時	 LED-2ヶ(赤色)が高速点滅(30秒)	30秒連続吹鳴	30秒点滅(配線時のみ)	

ステップ 6 警報機を停止させます。

メモ 警報動作中に(RST)ボタンを押すと警報のみが停止し、警報機は停止しません。このような場合は、バックライト(赤色)が消灯してからもう一度(RST)ボタンを押してください。

リモコンの(RST)ボタンを「パッ」と音が鳴るまで押し、警報機が停止するか確認してください。このとき車両側とリモコンが、下記表示を行うことも確認してください。警報機を停止させると、リモコンから「警戒を解除しました。履歴があります。」と発声します。

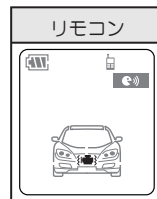
アンテナユニット	サイレン	ハザード	ドア	リモコン
 LED-2ヶ(赤色)が1回点灯	クッククック	3回点滅(配線時のみ)	解錠(配線時のみ)	

V-1取り付けの場合 :以上で基本動作の確認は、終了です。
65ページの「仕上げ」へ進んでください。

V-10取り付けの場合 :ステップ 7 ～ 8の動作確認を行い、「仕上げ」へ進んでください。

ステップ 7 エンジンを開始させます。

リモコンの(FUNC)ボタンを「ポッ」と音が鳴るまで押し、を点滅表示させ、(SET)ボタンを「ブッ」と音が鳴るまで押してください。その後エンジンが始動するか確認してください。このとき車両側は表示しません。エンジンがかかるとリモコンの液晶部にが表示し、「エンジンを始動しました。」と発声します。



ステップ 8 シフトセンサーの動作を確認します。

メモ エンジンキーを差さないとシフトレバーが動かせない車もあります。その場合は、エンジンキーをAOCの位置まで回して、確認してください。

エンジンがかかっている状態で、エンジンキーを差さずにフットブレーキをしっかり踏み、シフトレバーをゆっくりPレンジからRレンジへ動かしてください。このときエンジンが止まるか確認してください。

エンジンが止まらない場合は、シフト検出がうまく行われていません。フットブレーキ検出方式へ変更してください。詳細は、70ページの「フットブレーキ検出方式への変更」を確認してください。

以上で基本動作の確認は、終了です。

取り付け作業(つづき)

仕上げ

ステップ 1 配線したハーネス類を整理します。

 警告	・ハーネス類等は、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。 ・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンド等で確実に固定してください。固定が不十分だと脱落し、事故の原因となります。
 注意	・接続していない端子部は、ビニールテープ等で絶縁処理してください。ショートし、火災・故障の原因となります。

これまでに配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンド等を使用して、確実に固定してください。

ステップ 2 外したカバー等を元に戻します。

 警告	車のカバーや内張り等で配線類を挟み込まないようにしてください。断線やショートし、火災・故障の原因となります。
---	--

ステップ 3 コーシオンラベルを貼り付けます。(V-10の場合)

 危険	必ずエンジンルーム内の目立つ場所に貼ってください。ボンネットを開けて作業している際に、誤って始動操作した場合、重大な事故の原因となります。
---	---

エンジンルーム内の目立つ場所に貼ってください。貼り付ける際には、汚れや油分等をきれいに除去してください。

以上で取り付け作業は、終了です。